■「領域専門演習」長嶋担当テーマの紹介■

個別トレーニング道場：
先進テクノロジーの達人を目指そう

領域専門演習の目標は、後期から「総合演習I」に向かっていく本物の実力を養成することです。そのため、学生ごとに追求する個別テーマを相談して定め、火曜1-2限に縛られず毎週の課題特訓を進めると共に、長嶋ゼミ(前期水曜2限)に準ゼミとして参加して院生/4回生と交流し情報交換します。テーマの候補としては、エレクトロニクスの基礎をしっかり学ぶ[←チームラボに行ったゼミ先輩を支えた]、プログラミング特訓してArduinoやMax8を本当の意味で「使いこなせる」ようになる、多種のセンサを手当たり次第に実験してモノにする、オープンソースのマルチメディア・プログラミング環境であるProcessingを会得する、などです。参加形態としては、前半/後半だけ7週の参加ももちろんOKですが、中身が半分になってしまうので、前半後半を通して14週(+最終合評)、というパターンも歓迎します。なお、2023年度は長嶋のSUAC最終年度のため、後期に新3回生を長嶋ゼミに受け入れることはありません(4回生への継続性が無いため)。

「電気やプログラミングは理系の世界だから苦手」というのは間違いです。文系出身でも論理性をトレーニングして成長し、プロのプログラマー/デザイナーとして活躍している先輩はたくさんいます。インタラクティブなシステムを実現するために、オープンソース文化を活用し、システムをデザインする「勘所」をマスターして、自在に作品を制作できるようになる基礎をしっかりと学びたい人は参加を検討して下さい。

なお、前期金曜2限の専門科目「音楽情報科学」(長嶋)は、主として錯覚やメディア心理学をテーマとしてMax8を活用する予定ですが、履習条件として2回生前期「サウンドデザイン」および2回生後期「メディア数理造形演習」の履修実績があり、その上に積み上げる科目となっていますので注意して下さい。

以上